

日本国憲法		講義	教授 吉田 一康	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選 択科目 教職科目	科目ナンバリング	22200110 25100101	

### 1. 授業のねらい・概要

日本国民として知っておかなければならない国民の権利・義務や国の基本的な統治形態について理解することを目標とします。初めて見る用語が多いかもしれませんが、できるだけ分かり易く説明します。

最近、問題になっている憲法改正や皇位継承, 自衛隊の海外派遣, 平成 21 年から開始された裁判員制度などについても、できるだけ分かりやすく解説します。「ビジネス法学入門」の基礎的な部分と関係します。

### 2. 授業の進め方

①50～60 分 配布するレジュメに従って、説明をしながら講義を行います。憲法の第 1 章「天皇」から第 11 章「補則」まで、重要事項について、基本的には条文順に説明します。

②30～40 分 配布する練習問題に回答してもらいます。また、質問を受け付けます。

### 3. 授業計画

1. 講義紹介	9. 社会権（生存権等）
2. 憲法とは（憲法制定, 硬性・軟性憲法）	10. 財産権・人身の自由（財産権の不可侵等）
3. 国民主権と天皇制（象徴天皇, 皇位継承）	11. 参政権（選挙権, 被選挙権, 公務就任権）
4. 戦争放棄（自衛戦争, 侵略戦争）	12. 国会（二院制, 国政調査権）
5. 第 9 条関係 DVD（自衛隊の海外派遣）	13. 内閣（議院内閣制, 解散権）
6. 憲法の主体（日本国民, 外国人, 法人）	14. 裁判所（司法・裁判員制度）
7. 基本的人権（法の下での平等）	15. 財政, 地方自治, 憲法改正等
8. 自由権（思想及び良心の自由等）	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各講義の内容に関する参考文献の該当箇所を読むこと（1 時間程度）。講義後、授業内容を復習して、レジュメ及び練習問題の解答を理解しておくこと（1 時間程度）。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①各講義で行う練習問題の後に、解答及び説明を行います。②期末試験の後に、解答例を掲示します。

### 6. 授業における学修の到達目標

①国民の権利・義務や国の基本的な統治形態についての理解。②自由権などについての独自の価値観の形成。

### 7. 成績評価の方法・基準

積極性 20%（受講態度など） + 期末試験 80%（筆記試験）

A 80 点以上 B 70～79 点 C 60～69 点 D（不可）60 点未満。

### 8. テキスト・参考文献

毎回、レジュメと練習問題を配布し、テキストは使用しませんので、特に購入する必要はありません。自習のための参考文献として下記のものを挙げます。

①小嶋和司・大石眞『憲法概観』（第 7 版）有斐閣双書 2011 年（2090 円）

②木下智史・只野雅人『新コンメンタール憲法』日本評論社 2015 年（5060 円）。

### 9. 受講上の留意事項

私語・態度不良など他の受講者の迷惑となる行為や、遅刻・中途退席などの目立つ受講者については、評価を減点又は受講を制限します。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本授業は、不動産会社等における法務の実務経験を活かして指導する。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。